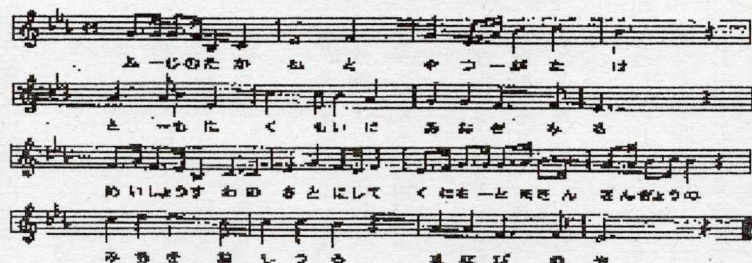


1 4 【 長野県岡谷工業高等学校 】

(一般社団法人) 長野県岡谷工業高等学校同窓会

1. 岡谷工業高等学校校歌



岡谷工業高等学校校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 陸軍軍楽隊

一、富士の奇巒と八ヶ岳
其に雲層に仰ぎみる
名勝勝地の襟にして
國を富ましん産業の
道を發ふる學びの會

二、世界に亘る工業の
その進歩をこころとし
寸陰惜み勉みつつ
君恩師恩親の恩
胸に銘じて忘らず

三、是よ人生の神き香
希望の光を照らし
紅血高く脈に鳴る
榮成る朝世に尽し
母校の誓いぞ掲げん

岡谷工業高校は、長野県岡谷市にある工業高校です。製糸業が隆盛を極めていた明治の末期、平野村（現在の岡谷市）では次代を担う人材を育成する学校設立の機運が高まり、明治45年4月に生徒数120人、水田1,000坪、桑畑1,500坪の広大な規模で、平野村立平野農蚕学校が設立されました。

その後、平野蚕糸学校→諏訪蚕糸学校→岡谷工業学校と改称し、昭和22年、現在の長野県岡谷工業高等学校となりました。

校歌は、昭和13年長野県岡谷工業学校に生まれ変わったとき、校長の小川を通じ、土井晩翠先生に作詞を依頼。作詞にあたっては、

＊蚕糸学校から工業高校への転換

＊校舎から一望できる富士山・八ヶ岳・諏訪盆地の様子を盛り込むよう依頼されました。

校訓は『至誠一貫』、『質実剛健』、『技術者たる前に人間たれ』で、この精神は脈々と現在も継承され、22,000余の卒業生は地元産業界を始め広範な分野で社会の発展・向上に貢献しています。